

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業	評価者	都市景観課長	芳本 俊雄
まち-07 旧華頂宮邸管理運営事業	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務	主管課	都市景観課
		関連課	
総合計画上の位置付け	分野	都市景観	施策の方針
			良好な都市景観形成事業の推進

1 事業の目的

対象	市民等
意図	旧華頂宮邸の適正な管理運営を図るため。
効果	市民をはじめとする多くの人々が集い、様々な情報を発信していく施設として活用を図る。

2 平成27年度に実施した事業の概要

・週5日の庭園の一般公開を行うとともに、年4日の建物公開を実施した。 ・建物等の適切な維持管理と施設維持協力金の確保を行った。 ・地元住民ボランティアと協力し、庭園及び建物の適切な維持管理を行った。 ・旧華頂宮邸暫定活用運営会議を開催し、保全活用方針の策定に向け実験活用を実施した。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算	27年度決算	データ区分	28年度当初予算	備 考
人 口	177,464人	177,243人	人 口	176,869人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
世 帯 数	80,368世帯	80,676世帯	世 帯 数	80,928世帯	
事業の対象者数			事業の対象者数		
運営資源状況					
決算値(千円)	14,032	13,692	当初予算(千円)	14,427	
国県支出金			国県支出金		
地方債			地方債		
その他	4,568	2,330	その他	4,801	
一般財源	9,464	11,362	一般財源	9,626	
人員配置数	1.5	1.5	人員配置数	1.5	
人件費(千円)	11,140	11,534	人件費(千円)	11,729	
総事業費(千円)	25,172	25,226	総事業費(千円)	26,156	
市民1人当りの経費(円)	142	142	市民1人当りの経費(円)	148	
対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△. 負担未導入 △-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○. 協働実施済 協働実施済の場合のパートナー 宅間ボランティアの会
事業内容の方向性	☐ a: 事業内容を見直す ☒ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直しの種類 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他 見直しの内容 事業へ統合
予算規模の方向性	☐ A: 予算規模を拡大する ☒ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 ・建物の老朽化もあり、活用方針を策定した後は、耐震改修など大規模維持修繕等の必要経費は増大するものと思われる。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	・関連・類似事業はなく、現在でも管理等は委託するなど、効率的に事業を運営しており、事業費を削減する余地はない。 ・市民ニーズは常にあり、豊かな市民生活に寄与しており、今後も市が実施していく必要がある。 ・成果は概ね出ているが、具体的な活用方針を策定に向け、更なる努力は必要である。 ・旧華頂宮邸暫定活用運営会議において策定した「暫定利用のルール」を運用し、地域住民と協働しながら実験活用を行うなど、具体的な活用方針の策定に向け、着実に推進している。 ・今後においても、地域住民の協力を得ながら、歴史的文化的価値の高い洋風建築物としての活用を図る必要がある。	

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	・旧華頂宮邸暫定活用運営会議を運営し、継続的に実験活用を実施し、具体的な活用方針を策定する必要がある。 ・活用方針に合わせた大規模な修繕の実施に向け、庁内関係課等と調整を図る必要がある。		
課題解決のために行った平成27年度の取組	・旧華頂宮邸暫定活用運営会議において策定した「暫定利用のルール」を運用し、地域住民と協働しながら実験活用を実施した。 ・土地賃借契約の更新について、土地所有者と交渉を行った。		☐ 解決 ☒ 一部解決 ☐ 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	・地元への情報開示とイベント等の企画側との調整を主たる目的とした「(仮称)旧華頂宮邸暫定利用連絡会」の設置を検討し、継続的な実験活用の実施結果を踏まえ、具体的な活用方針を策定する。 ・活用方針に合わせた大規模な修繕の実施に向け、引き続き、庁内関係課等と調整を図る必要がある。		

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う 他市比較に関する 考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	入場者数					単位	人	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
一定の入場者数を確保し、あわせて募金箱への寄附額を現状維持し、施設の維持管理に充たしたい。	目標値	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000		10,000		
	実績値	10,492	11,053							
	達成率	104.9%	110.5%							
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	・週5日(月・火曜日休み)の庭園公開と、年4日(春、秋)の建物公開を実施している。 ・建物公開日は施設規模から入場者数に限度があるが、通年の庭園公開日については啓発等で一定の入場者数を確保したい。あわせて、設置している募金箱への寄附額の現状維持を図りたい。									

● 事業に関する特記事項

☐ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	☐ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---